

場所に関わらない計画に関するご意見

～みなさまから頂いたご意見等(平成18年1月中旬まで)から整理しました。～

大深度地下

(心配や懸念されること)
・(提案)

地震、洪水などの災害時の対応や地上部への影響が心配。

大深度地下トンネル内での交通事故や火災発生時の対応、それにとまなう地上部への影響が心配。

・外環は不要

大深度地下トンネル内を安全に走行できることが重要。

・大深度地下の見直し、不確実性を考慮した十分な強度の確保

大深度地下利用の実績が少ないため、施工や運用に問題が生じないか不安。

インターチェンジの設置

長期的、広域的な視点からインターチェンジの設置の有無を考えることが重要。

地域の生活環境を守ることが重要。

・インターチェンジを設置しない

地域の一般道路の交通渋滞を解消することが重要。

・インターチェンジの設置

地域の交通利便性を向上させることが重要。

インターチェンジへのアクセス交通の集中にとまなうインターチェンジ周辺道路の安全性の低下を懸念。

環境

ジャンクションやインターチェンジなどの地上部分を走行する自動車や換気所からの排気ガスによる大気への影響が心配。

・外環は不要 ・地下鉄の敷設

トンネル内に排気ガスが充満してしまうのではないかと心配。

ジャンクション、インターチェンジやトンネルからの騒音や振動が心配。

・外環は不要

シールドトンネル及び開削部で地下水が遮断されることで、地盤の沈下が生じたり、池や川が枯れたり、樹木等にも影響が出たりすることを懸念。

・外環は不要 ・インターチェンジに反対

自然環境や生活環境を保全することが重要。

・外環は不要 ・できるだけ深く ・地上部の計画廃止 ・インターチェンジは不要 ・外環は整備せず既存道路のみ整備

環境基準が達成できるかどうか不安。

・外環は不要

大深度地下利用の実績が少ないため、環境への影響を十分に予測できないのではないかと心配。

誘発交通による想定外の環境悪化が心配。

地上部街路

外環が地下化しても地上部街路が整備され、環境への影響や地域の分断等による影響がでるのではないかと心配。

- ・ 地上部街路は不要
- ・ 既存道路を拡幅

歩道・緑地帯をもったあまり交通量の多くない道路であれば、利用する上でありがたい。

まちづくり

インターチェンジにアクセスする自動車が生活道路に進入し、大気汚染、騒音や交通事故を引き起こすのではないかと不安。

- ・ 外環は不要
- ・ インターチェンジへのアクセス道路の整備
- ・ 都市計画道路の整備

地域の分断を懸念。

- ・ ルートの変更

工事

工事中の騒音や粉塵などの影響が心配。

資材や発生土運搬にともなって工事車両が集中し、沿線地域で渋滞やそれにとまなう影響を生じることを懸念。

- ・ 工事の環境影響評価

工事現場の安全管理が心配。

用地・補償

これまで計画区域内にあった自分の家が、計画概念図上では計画区域外になるように見え、実際にどこまでが計画区域に入ることになるのかが分からないので不安。

計画線内の居住者や事業者などに対する補償がどうなるのかが分からないので不安。

- ・ 移転に伴う精神的な影響も含めた補償

できるだけ移転が生じないようにすることが重要。

- ・ 環八地下での整備

外環の必要性

人口減少などの社会情勢や財政状況、経済情勢、価値観の変化を踏まえて検討することが必要。

- ・ 外環は不要

大深度で通して実際に地上に影響がないのであれば、現状を考えれば外環整備はやむをえない。

移動の効率性や利便性を考慮することが重要。

- ・ 外環は必要
- ・ 外環の早期整備

外環を整備しても、首都高や環八等の渋滞は解消されないのではないかと不安。

外環埼玉区間のように実際の交通量が予測結果より増えてしまうことが心配。

- ・ 誘発交通量等の精査

中央環状線や圏央道が完成して外環の効果が減少しないか心配。

事業費・維持管理費用が大きいため、採算性がとれなくなり、税金が無駄遣いされるのではないかと心配。

外環整備には首都高速道路の渋滞緩和、環境改善に期待。

公共交通など、他の施策を考慮して、必要性を判断すべき。

その他

外環を道路としての利用に加えて、他の用途で活用できるようにすることを要望。

- ・水害時の遊水池利用
- ・電気等のインフラの導入

検討が長引いて税金が無駄づかいされることを懸念。

- ・外環の早期整備